



楽しく仕事



Work life balance

# ワークライフ バランス

● ケーススタディ ●

Case Study

平成25年度



楽しく子育て



高知県

認定企業の  
取り組み  
CASE 6

## 株式会社 高南メディカル

学校や病院等の給食や、特定保健指導事業、機能性食品の研究・開発等を手掛ける株式会社高南メディカル。社員の約90%が女性ということもあり、育児休業は正社員・パート社員共に希望者全員が取得。男性職員も人数が少ない中で1名が取得。また従業員全員の所定外労働時間を月25時間未満とする取組や、中学校始期まで取得できる看護休暇制度を設けるなど、子育てしやすい職場環境づくりに努め、平成25年5月には「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定(くるみんマークの認定)を受けています。



高須小学校事業所勤務  
岡田 絵里さん

栄養士の資格を持ち、調理担当としてお勤めの岡田絵里さんは、同じく栄養士として働くご主人と2歳のお子さんの3人家族。子どもが産まれた時から夫婦2人で協力し合って子育てをしてきました。岡田さんは、生後10カ月まで育児休業を取得し、復帰後はお子さんを保育園に預けてフルタイムで勤務しています。

「子どもが出来たら仕事を辞める、という考えはなかったですね。経済的な理由も大きいですが、仮に経済的支援があったとしても私は働いていたと思います。私は調理の仕事が好きなんです。」と話す岡田さん。「職場の先輩方もみなさん育児休業を取得していましたし、自分が休業を取る時も言いたしやすかったです。休業中も何度か会社に行く機会があったのですが、育児の悩みを聞いてもらったり、仕事以外でも色々とお助けしてもらいました。」とのこと。

とはいえ、調理の仕事は長時間の立ち仕事も多く大変で、「産前6週まで働い

ていましたから、お腹が大きくなってくると大変でした。でも一番つらかったのはつわりの時期ですね。その時はもうご飯の炊ける匂いが辛くて……(笑)。しばらくしんどかったのを覚えています。」と話す岡田さん。

育児休業中の生活を振り返ると、「初めての子育てなので、休業中は育児と家事をこなすだけで手いっぱいでした。でもしんどい、とか子育てへの不安というのはなかったです。休業する前から「赤ちゃんできた!うれしい!」という気持ちでいっぱいでしたから(笑)。」と嬉しそうに話します。



「でも復帰後の職場が決まった時は急に不安になりました。「本当に働けるのかな」、「みんなに迷惑かけないかな」と。子どもを保育園に預けて、仕事に行く、という生活のイメージができなくて。どうなるのかなあという感じでした。」

現在は午前8時15分から午後5時までのフルタイム勤務。朝5時半に起きて洗濯をすませ、子どもを保育園に送ってから出勤しているといいます。「夫は帰宅時間が遅いので出来る時は手伝ってくれますが、基本的には1人でやっているの、仕事との両立は大変です。初め

のころは時間配分が分からず大変でした。でも楽しみながらやっています。ほんとに子どもはかわいいんですよ(笑)。」と話す岡田さん。



「職場は、自宅の近くの勤務場所になるように配慮をしてくれています。子どもが病気になった時や、こどもの行事がある時は優先的に休ませてくれるので本当に助かっています。」とのこと。

また、「大変といえば大変ですが、仕事をしていると、色々な人と話せて、教えられることがたくさんあります。だから仕事は続けていきたいです。」とも。

終始明るい笑顔で話す岡田さんは、大変な中でも「子どもも仕事も大好き。」という思いが強く伝わってきました。岡田さんは今日もたくさんのお子たちのために「おいしい」の笑顔を届けています。



## 副社長から

当社では、所定外労働時間の削減をはじめ、育児休業復帰後も状況に応じて勤務時間の調整をするなど、男女ともに働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。従業員の年代も18歳から80歳まで幅広く、また、女性がその9割を占めていますが、現在、女性の育児休業取得率は100%となっています。

ワークライフバランスは、職場での仲間意識を高め、お互い協力して仕事の見直しや効率を図っていくので、よい傾向だと思えます。今後も、子育てしながら働き続けることができる職場環境を作っていきたいと考えています。



取締役副社長  
宮本 高憲さん

## DATE

- 業種：サービス業
- 所在地：〒780-0026 高知市秦南町1丁目5番54号 高南食品ビル4F
- 電話：088-824-7150
- FAX：088-875-1414

